

しえんきょういくだより

2023年度12月 芝生小学校



校舎内に、子どもたち手作りの冬の掲示がされています。
冬はクリスマスやお正月など、楽しいイベントが続きます。
子どもたちは、サンタさんに何をお願いしようかと胸を
わくわくさせていることでしょう。



まもなく冬休みです。家族で過ごす時間が増えますね。長い時間を親子だけで
過ごすとなると、お子さんを褒める機会もたくさんあるでしょうが、つつい叱
りすぎる場面もあるのではないのでしょうか。どこのご家庭も同様だと思います。
この「褒める」「叱る」ことについて、次のようなことを聞いたのでご紹介します。

「褒める」「叱る」を バランスよく味わって育つこと



子どもは親から「褒められたい」という強い欲求をもっています。
自分が努力し取り組んだことを一番の理解者である親から
「褒められる」ことで、「認められた」「自分は正しかったんだ」
という喜びを味わい、「自分はすばらしい存在なんだ」と
自覚します。自信と共に、やる気や主体性・積極性を身に
つけていきます。



そして、「してはならないこと」はきちんと叱ります。親が感情的に「怒る」の
ではなく、きちんと叱って、何がよくないのか、どうすることが良いのかを教えま
す。社会道徳を身につけさせることが、家庭の役割です。

大人の都合で「褒める」「叱る」を繰り返されると、子どもは誤学習をします。子
どもの行為が一貫性をもって正しく評価され、
バランスよく「褒められる」「叱られる」ことで、
自分の行動に自信を持って
社会に出ていくことが
できるのです。

